



学校だより 酉支援

今年度のスローガン「笑顔でもっとチャレンジ！」

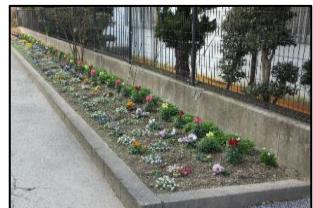
令和8年1月9日(金)

北九州市立八幡西特別支援学校

校長 今井 有子

【後期後半がスタートしました】

冬休みを終え、学校に子ども達の元気な声が響き渡っています。日常の生活のありがたさを実感しているところです。冬休みを楽しく過ごした子ども達、クリスマスプレゼントの話や、お正月に家族と食事を楽しんだこと、外出したことや、自宅学習を頑張ったことなど、たくさんの話題で賑わっていました。冬休みに入り、急に冷え込み、体調を崩した人もいるようですが、みんなで新年を迎えることができ、うれしく思います。保護者の皆さん、日々の健康管理、ありがとうございます。2026年は午年。子ども達の前でも話しましたが、馬は縁起の良い動物として大切にされてきたようです。力強いイメージから、前進・飛躍などを象徴しており、何事もうまくいく前向きになれる年とも言われています。職員一同、子ども達の「笑顔でもっとチャレンジ！」がうまくいくことを願い、指導・支援を行ってまいります。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



正門前、校庭に植えたお花、育っています。

【職員研修の紹介】

本校では、職員の専門性の向上を目指し、年間を通して職員研修を実施しています。今月は、8日（木）に人権研修を実施しました。28日（水）には、進路研修を予定しています。今月の学校だよりでは、人権研修について紹介します。人権教育は「北九州市こどもまんなか教育プラン」にも示されており、本校においても「確かな人権感覚」を身に付けるための教育活動の展開を目指しているところです。今回の人権研修では、講師に元教育委員会指導部長で、現在北九州市人権擁護委員としてご活躍されている大庭正美先生をお迎えし、「学校における人権教育について～同和問題の根っこから、つながりを大切にした学校・学級づくりまで～」という演題で講話をしていただきました。SNS等で拡散される様々なニュースは、迷信や誤解を招く要因となることもあります。正しい知識や認識をもって、子ども達の指導や支援が行えるよう、取り組んでまいります。

【一旦停止と安全運転のお願い】

児童生徒の送迎等においては、いつも安全運転を心がけていただきありがとうございます。正門前の道路は、傾斜があり、車が加速して走行してくることもあります。また、自転車や歩行者も多く、雨の日や夕方等、視界が見えにくい際にはヒヤッとされたことがある方もいるのではないかでしょうか。本校から道路へ出る際の注意喚起として、白線を引いております。この線の手前で一旦停止、徐行運転を心がけ、事故防止に努めたいと考えております。引き続き、安全運転だけでなく、飲酒運転の撲滅にもご協力いただきますようお願いいたします。



ここでストップ!

